

かたらんね〜

須恵町のスポーツ団体・文化団体を紹介します。みなさんも一緒にやってみませんか？

第2回 尺八 (峯山会)

新企画の2回目は、日本の伝統楽器である、尺八を取り上げます。文化協会から、尺八のサークル峯山会取材しました。

峯山会とは

峯山会は、入江潤三さんを中心に12歳～80歳の方々10名で木曜日・土曜日に須恵中学校まなびっく教室で練習しています。会員には、ドイツの方もいますし、約半分の方が女性です。興味のある方はぜひ参加して下さい。

尺八について

尺八は、仏教の伝来と共に中国から朝鮮半島を経て、日本に入り、独自の変化をとげました。江戸時代には、虚無僧しか尺八を吹く許可が幕府から出ませんでした。誰でも尺八を吹けるようになったのは、明治4年からです。

尺八は、真竹でできており1尺8寸(54cm)が基本ですが、用途により多くの種類があります。尺八には、「首振り3年 箏3日」との言葉がありますが、安定した音が出るまでは年月がかかることを意味しています。でも早い人もいれば遅い人もいて人それぞれです。幽遠で哀愁のこもった尺八の音に魅了されます!!



新都市流竹琳軒大師範 入江 峯山氏

入江潤三さんにお話を伺いました。20歳のころに始めた尺八。その魅力にはまり、50数年続けられているそうです。

三曲会で演奏

取材の日は、明道館のデイサービス(敬老祝賀会)で須恵三曲会として、尺八・箏・十七絃の演奏を行いました。三曲会としては、さまざまな催しで三絃も含めて楽しい演奏をされています。

議会広報を読んで

明るい紙面になって読みやすいとの感想をいただきました。



※箏(筑紫歌峰会)は3月議会号で取り上げさせていただきます。

編集後記

広報特別委員会では、議会だよりがより多くの町民の皆さまに、手に取って目を通していたけるよう、見やすく、読み易い紙面づくりに取り組んでいます。

見出しやキャッチを皆で考え、議会で何を審議しているか等の情報を分かりやすく開示したり、紙面の中に、須恵町で活躍されている方に登場していただき、「特集」記事や「かたらんね」(スポーツ団体・文化団体を紹介しています)の取材を行うなどして、須恵町議会と町民の皆さまを結ぶ広報紙づくりを目指しています。

稲永 辰己

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：田ノ上 真

副委員長：今村 桂子

委員：三角 栄重

委員：稲永 辰己